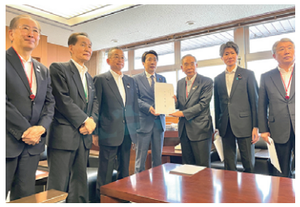
新幹線で四国は生まれ変わります！

- その1 4県都が1時間以内で結ばれることで、沿線都市が一体化し、人口200万人規模の**“四国ネットワーク中枢都市圏”**が形成されます。
- その2 四国一体の観光振興策や産学官連携・オープンイノベーションが推進され、**四国経済が活性化**します。
- その3 関西をはじめ**西日本各地との相互交流が活発化**します。
また、スーパー・メガリージョンと直結することで、その効果が四国に波及します。
- その4 災害に強い新幹線は、**地域の防災力**を格段に**向上**させます。
- その5 新幹線は**四国の公共交通ネットワークを守る骨格**になります。

四国新幹線整備促進期成会の活動

当会はこれまで四国の新幹線誘致に向け様々な活動をおこなってきました。
今後も四国の新幹線実現に向け、多様な取組みをおこなっていきます。


要望活動の実施

講演会やシンポジウムの開催

イベント出演による広報活動の実施

四国の新幹線実現には、地元の皆さんの「新幹線を四国に！」との熱い思いが何よりも必要です。

四国の未来のために
四国の新幹線について
考えてみませんか？

COME ON SHIKOKU!!
さぁ、次は四国の番だ。

四国新幹線整備促進期成会
四国の新幹線

/ 四国新幹線整備促進期成会

@tsunagun_459

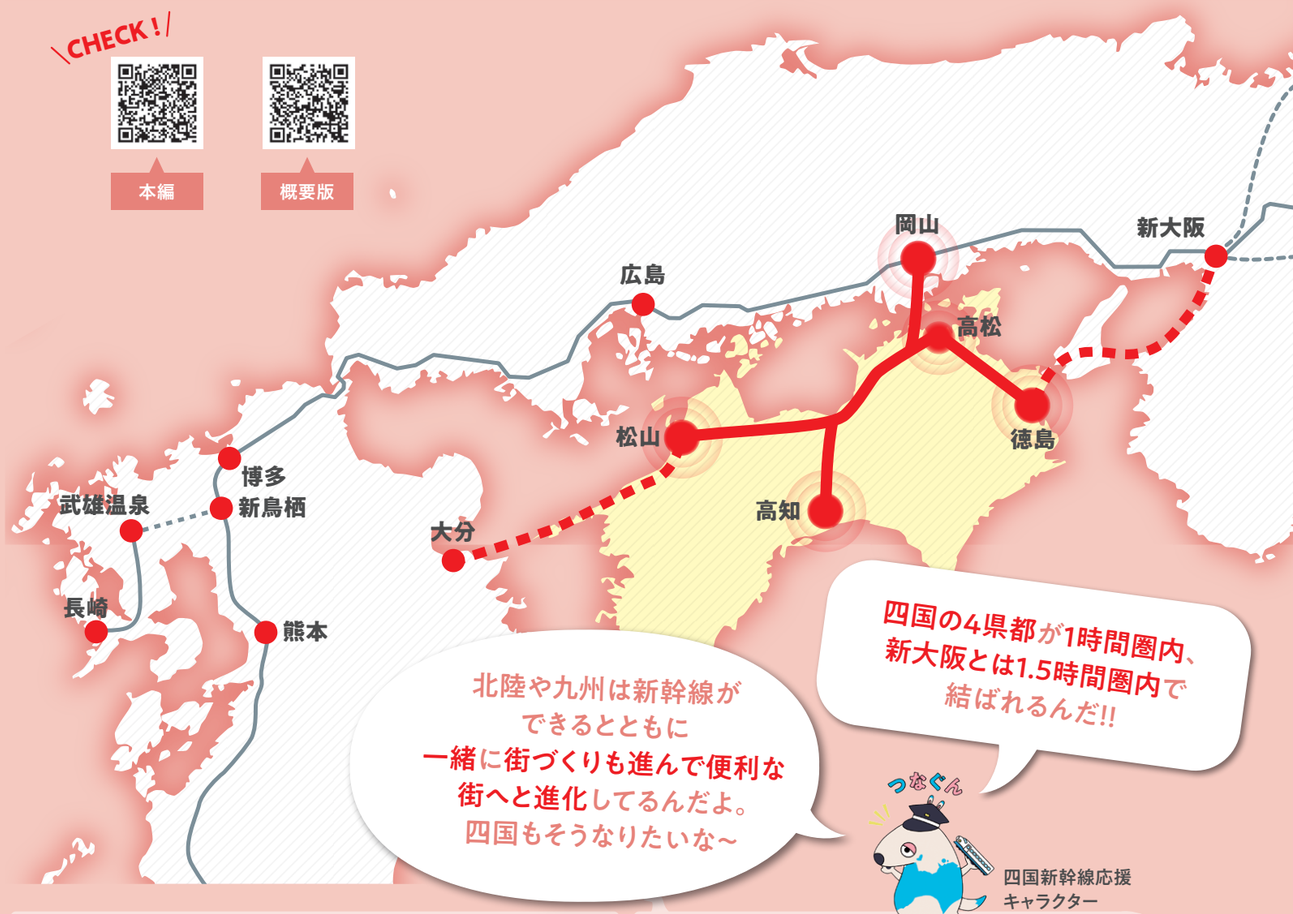
【高知県版】

新幹線が都市を変える 新幹線と四国のまちづくり調査

新幹線は四国の未来を変えるプロジェクト

四国４県都の新幹線駅の候補地案が発表！？

CHECK！
本編
概要版



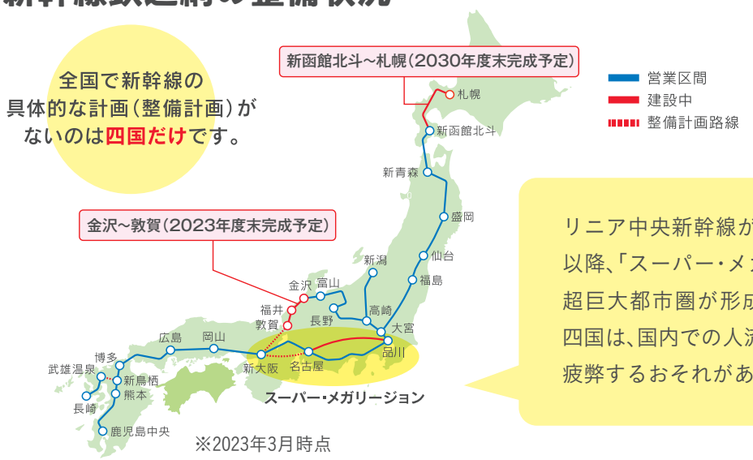
四国新幹線応援キャラクター

四国新幹線整備促進期成会

このパンフレットは、2021年度に実施（2022年6月に公表）した「新幹線と四国のまちづくり調査」結果をまとめたものです。
※一部、2017年度に実施（2018年6月に公表）した「新幹線を活かした四国の地域づくりビジョン調査報告書」や当期成会作成のパンフレットの内容を引用しています。

新幹線は四国が生き残るための切り札です

全国新幹線鉄道網の整備状況



※2023年3月時点

リニア中央新幹線が大阪まで延伸する2037年以降、「スーパー・メガリージョン」と呼ばれる超巨大都市圏が形成された際、新幹線のない四国は、国内での人流・商流圏域から疎外され、疲弊するおそれがあります。

新幹線が都市を変える〈新幹線の通る同規模都市の先行事例〉

新幹線開業効果によって目覚ましい発展を遂げている都市や開業に向けてまちづくりを進めている都市の事例を紹介します。

富山　市民生活の利便性向上

富山駅高架下で路面電車の南北接続

資料：富山市活力創造部

新幹線・富山駅の高架下へ路面電車の停留場が移設され、新幹線の改札口から約40mの近距離で乗り換えが可能になりました。

南北に分断されていた市街地は富山駅の高架下で「富山港線」と「富山軌道線」が接続したことで、南北を移動する利便性が大きく向上し一体感のあるまちへと生まれ変わりました。

福井　まちづくりの進展

福井駅前電車通り北地区A街区再開発イメージ図

※協議段階のため今後変更が生じることがあります。
資料：福井駅前電車通り北地区A街区市街地再開発組合

新幹線・福井駅付近は、鉄道の高架化と併せて土地区画整理事業を実施し、東西に分断されていた市街地の一体化を進めています。

また、土地の高度利用の機運も高まり、福井駅付近の複数の街区では、宿泊・商業施設、オフィスビル、駐車施設の建設など、中心市街地の再開発が進められています。

長崎　交流人口の拡大や企業の進出

長崎スタジアムシティプロジェクトイメージ図

※構想段階のため今後デザイン含め変更の可能性があります。
提供：ジャパネットホールディングス

地元民間資本による複合施設「長崎スタジアムシティプロジェクト」の整備（2024年開業予定）や、中心市街地・臨海部などでの再開発が進んでいます。

新幹線・長崎駅周辺では、コンベンションホールやイベント・展示ホールなどを備えた「出島メッセ長崎」も開業予定で、長崎市のまちづくりは「100年に一度の変化のとき」を迎えていると言われています。

さあ、次は四国の番だ！ 2037年の開業を目指して

四国の新幹線は、四国４県を結ぶ302kmの路線です。リニア中央新幹線が大阪まで延伸する2037年を一つのターゲットとして、開業を目指しています。

四国の新幹線整備のイメージ

整備延長
302km
費用便益比（B／C）
1.03
概算事業費（車両費含む）
1.57兆円
経済波及効果
169億円／年
※図の赤色実線ルートの場合

県都における新幹線駅の候補地イメージ（高知県）

新幹線駅イメージ図

【候補地：高知駅付近】

高知駅の南東側に併設し、新幹線駅を核として各交通機関との連携を強化し、交通結節や県内観光地へアクセスする拠点としての機能向上を図ります。

他の候補地

【候補地：後免駅付近】

後免駅北側に併設し、北東から土讃線と並行して乗り入れる案を想定しています。

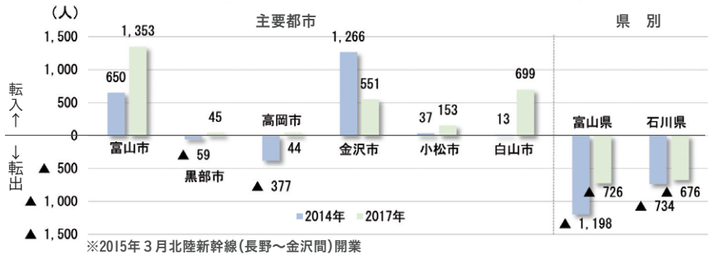
新幹線整備で期待できる波及効果の一例

【生　活】
交流人口や通勤圏拡大による定住人口の増加、地域人材の広域的な活躍の促進

交通利便性の向上による他県からの交流人口の増加や若者の地域定着、広域的な人材の活躍の促進が期待される。

新幹線整備により、交通利便性が向上することで、他県からの交流人口の増加や、通勤圏の拡大に伴う地方定住者の増加等、大都市からの地方への流れが進むことが期待されます。

【参考】「北陸新幹線開業」前後の富山県・石川県の人口社会増減の推移　※2014年は開業前、2017年が開業後の数値



※2015年３月北陸新幹線（長野～金沢間）開業

- 富山市、黒部市、高岡市、小松市、白山市では、転入超過幅の拡大や転出超から転入超への転換がみられる。
- 金沢市は、新幹線関連施設の開業準備従事者らの転出が、新幹線開業後一時的に増えたため、転入幅が縮小している。
- 富山県、石川県ともに、転出超過幅が縮小している。

資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口移動報告」を基に作成

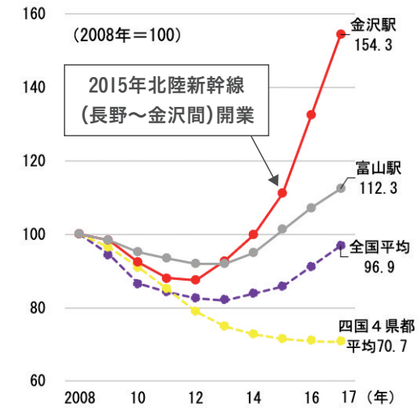
【都市機能】
中心市街地を核とした地域経済の活性化

新幹線駅周辺の再開発進展に伴う、中心市街地活性化が期待される。

新幹線整備により、交通利便性の向上と駅周辺の再開発が進展することが予想されます。

その結果、新幹線駅周辺の商店街をはじめとする中心市街地の活性化とそれに伴う地価の上昇、自治体税収の増加が期待されます。

【参考】新幹線開通都市駅周辺の公示地価の変化



資料：日本全国の公示地価などを基に作成